

令和6年度 4月定例会会議録

- ◎招集年月日 令和6年4月19日（金）
◎開催日時 令和6年4月25日（木） 午後3時00分～午後5時00分
◎場所 伊那市役所 庁議室
◎出席委員 笠原教育長、北原教育長職務代理者、田畑教育委員、原田教育委員、黒河内教育委員
◎欠席委員 なし
◎出席職員 三澤教育次長、唐澤学校教育課長、北林子ども相談室長、矢澤生涯学習課長、
早川市誌編さん室長、小島社会教育指導員、小松指導主事、酒井指導主事、伊藤
教育総務係長

1 開 会

2 あいさつ 教育長

- ・令和6年度最初の定例教育委員会となる。委員の皆様には、卒業式、入学式の対応いただいた。桜が咲きそろった頃での入学式となった。
- ・とある学校では、集団登校について、新6年生に気持ちを寄せて見守っていただいた。今年も、よろしくお願いしたい。

3 委員のひと言 田畑委員

- ・「サマースクール」は、Hlabo という団体が小布施町で高校生対象に行ってきたもので、今回県内各地に広げたいということで伊那市が手を挙げ、地域創造課の支援をいただきながら伊那市商工会議所、小布施町、小布施町教育委員会、県教委で実行委員会形式をとり、前半を伊那市で、後半を小布施町で実施することとなった。
- ・「いななつ探求」は、アルラの運営を受けている産直新聞社が行うもので、活発な高校生を中心に地域の大人との接点をつくる企画となっている。
- ・「高校生の企画実行委員募集」は、伊那新校や技術新校の最寄り駅の伊那北駅前への再開発にあたり高校生にも参画していただくもので、通信高校を含めて6校の中から実行委員を募り、活動いただく企画となっている。
- ・こういう活動があることをアピールしていただければと思います案内させていただいた。

（異動職員の自己紹介）

4 会議事項

第1 教育長報告

- ・4月10日の伊那市校長会で、市長は、コロナ禍を通して最も近くにいる学校が子どもの変化を捉えるということの大切さ、伊那の地にある教育的な営みに触れて生きる力をつけることの大切さ、学校登山等についての思いをお話された。
- ・市長の思いを校長たちに伝えていただけることは本当にありがたいことだなどと思いながら聞かせていただいた。

第2 議案

（1）公民館運営審議会委員の委嘱について

- ・生涯学習課長から資料に基づき説明
- ・質問、意見はなく、原案どおり決議された。

第3 報告事項

- (1) 教育委員会各課関係行事予定について
- ・学校教育課長、生涯学習課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)
- (2) 小中学校年間行事予定について
- ・学校教育課長から資料に基づき説明
 - ・それぞれの委員から日程の合わない日については、事務局で調整することとした。
- (3) 生涯学習基本構想 令和5年度達成状況について
- ・生涯学習課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)
- (4) 社会人権同和教育の推進について
- ・社会教育指導員から資料に基づき説明
 - ・教育長から「人権同和教育の充実は、生涯学習課の政策の中でも非常に大きい位置にあり、そういう気持ちで私達も取り組む必要があると思う。」との意見があった。
- (5) 市誌編さん事業の進捗状況について
- ・市誌編さん室長から資料に基づき説明
 - ・教育長から「最初に印刷会社へ入稿するのはいつか。」との質問があり、市誌編さん室長から「令和8年3月末に発刊になるものについては、今年の10月に入稿を予定している。」旨の回答があった。
 - ・教育長職務代理者から「(今回の資料は) 着眼点が面白く、新しいことがあり、研究されている。珍しいものについて市民の声を聞くことも良いことだと思う。」旨の意見があった。
 - ・教育委員から「このページにどのようなとりつきかについて目次や巻末の索引となるが、今回はどうか。」との質問があり、市誌編さん室長から「索引の検討はこれからとなるが、目次から追っていく形を考えている。できれば索引を考えたい。」旨の回答があった。
- (6) 来月以降の文化施設の行事日程について
- ・生涯学習課長から資料に基づき説明
 - ・教育長から「図書館の新しいカードデザインの選考結果が公表されるのはいつ頃か。」との質問があり、生涯学習課長から「連休明けぐらいの日程で調整している。」旨の回答があった。
 - ・教育長から「観桜期中、信州美術館、高遠町歴史博物館に入館された方は多い印象があるが、受け止めはどうか。」との質問があり、生涯学習課長から「歴史博物館は8千人を超えてくるものと期待している。信州高遠美術館はアーティストの作品の展示ではなく収蔵作品の展示であるが、だいぶ頑張っていると判断している。」旨の回答があった。
- (7) 共催・後援について
- ・学校教育課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)
- (8) その他
- 教育長、原田委員、任期末を迎えるにあたって
- ・原田委員から「教職員の経験はなく用語に戸惑うこともあったが、子どもたちのため動けたと思っている。教育委員としてあいさつをする場面が多く、最初は紙面どおりのあいさつをしていたが、子どもたちの様子を見ながら話ができるようになるなど、貴重な経験をさせて

いただいた。すばらしい8年間をいただいた。」とのあいさつがあった。

- ・教育長から「最も大きなエネルギーを要したのは感染症対応だった。初めて児童の陽性が確認されたのは令和2年の11月で、この時、子どもたちは長野市へバスで社会見学に出かけていた。これは知事までその報告が上がったそうで、クラスター状態になることを覚悟したけれども学級の子どもや教員達に感染者は出なかった。先生方の指導に応じて丁寧な予防策に取り組んでくれた子どもたちのおかげだった。保護者や地域の皆さんの冷静な対応も学校を支えてくれた。適切な時期に適切な情報提供に努めることがいかに大事か学んだ。事務局のスタッフには心より感謝している。膨大な業務量を抱えながら学校からの相談に丁寧に対応いただいた。行政の取組の95%から98%くらいは日常的な業務の積み上げ、そして残る5%から2%くらいが外から見える取組と思っている。申し訳ないのは大きな懸案の事項をいくつも残したまま退任すること。私のリーダーシップの欠如に由来することが多くあり、申し訳なかったと思っている。成果として1人に確かに届くという言葉は私達の中で共有でき、いくつかの課題に対応することができた。私はここで退任となるが、教育を志したときに抱いた初心を忘れず、これからも伊那市の学校、子どもたちを応援してまいりたい。6年間ありがとうございました。」とのあいさつがあった。

5 その他

(1) 今後の主な日程について

(2) 来月以降の主な行事予定について

- ・三澤教育次長から(1)から(2)まで、資料に基づき説明
(質問・意見なし)

6 閉 会